

あなたの手を、世界の誰かに。



2016年7月19日

セカンドハンド通信 NO.85

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/



緊急支援

4月14日に熊本で、16日には地球の裏側にあるエクアドルで大地震が発生しました。関係者のネットワークを使い、現地と繋がることができたため、緊急支援として支援物資や支援金の募集を行いました。

熊本地震

4月18日～22日の間、セカンドハンド店頭にて支援物資をお預かりし、林田物流株式会社様のご協力をいただきて2tトラックで22日に熊本へ向け出発しました。皆様からの支援物資は、セカンドハンドの創設者である新田が、御船町の足水、小坂地区、益城町木倉、甲佐町等をまわり、被災された方々へ直接手渡しました。中には「初めて物資が届いた!」という方や、ここ数日物資が減って困っていたという方がおり、大変喜んでくれました。物資を提供して下さった皆様、仕分けや積み込みを手伝って下さった皆様、ニーズを聞き取りながら北に南に臨機応変に安全運転で対応して下さった林田物流の吉田さん、ありがとうございました!

また、熊本地震の支援金としてこれまでに431,573円(6/29現在)が集まっています。お預かりした支援金は、以下の2つの団体の活動支援金に充てられます。

①一般社団法人アイ・オー・イーが実施する、未だ心安らぐことのない暮らしを強いられている子どもたちの心

に元気を取り戻す自然体験プログラムの活動支援金、
②未だ物資を必要としている方への物資支援や、高齢者支援、農家への支援といった現地で地道な活動を続いているRQ九州(一般社団法人RQ災害教育センター)の活動支援金です。熊本地震の支援金は7月末まで募集しています。寄付先の指定(2つの活動のいずれかに使って欲しい等)がある方はメッセージ欄に記載ください。ご協力よろしくお 皆さんにご協力いただきました! 願いします!

●熊本地震(4月14日)のあとのセカンドハンドの動き

4月15日	セカンドハンド各店舗に募金箱設置
4月16日	セカンドハンド・ユース街頭募金
4月18日～22日	店頭(高松店)にて支援物資受付
4月22日	支援物資をトラックへ積込み
4月22日～24日	現地で支援物資配布



たくさんのボランティアの

皆さんにご協力いただきました!

エクアドル地震



支援物資を直接手渡しました!
(写真右:鍵本さん)

エクアドルで4月16日(現地時間)にマグニチュード7.8の大地震が発生しました。この地震の被害に遭われた方を支援するために、セカンドハンドでは地震発生後から支援金を集め、これまでに362,995円(6/29現在)を

エクアドルに届けました。

今回のエクアドル地震による死者は約660名、負傷者は5万1千人を超える。コレア大統領は「過去70年間で

最悪の悲劇」と語っています。未だ多くの被災者が余震を恐れ自宅前の路上などで暮らし、約2万9千人が避難所生活を余儀なくされています(6/15現在)。

セカンドハンドでお預かりした支援金は、現地で活動を続ける青年海外協力隊の鍵本亜衣さん、内藤智子さんらを通じ、被災者の支援に充てられています。鍵本さんは、テントや石鹼、缶詰などの支援物資を購入し、被災された方のもとへ直接手渡しました。今後も状況を見極め、必要な支援を行っていきます。引き続きご協力よろしくお願い致します。

※現地からの詳細な支援報告はウェブサイトでもご確認いただけます

熊本地震、エクアドル地震の緊急支援は7月末までの募集とさせていただきます。ご寄付の際は、メッセージ欄等に「熊本地震支援金」「エクアドル地震支援金」との記載をお願いいたします。



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となるをモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

医療支援

カンボジア医師らの来日研修

5月24日～6月13日までの約3週間、JICA草の根技術協力事業「救急医療における人材育成を通した国際協力（カンボジア）プロジェクト」の一環でカンボジアのスヴァイリエン州から4名の医師、看護師らを招き研修を行いました。本事業は2014年2月から高松市と連携して行い、今年で3年目（最終年）を迎えます。

今回の来日研修では、指導者を育てる研修として、2016年2月の実技試験に高得点で唯一の合格者であるスヴァイリエン州立病院・副院長のソティア医師（来日研修2回目）を筆頭に、4名のメンバーを選出しました。

研修内容は、過去2回の来日研修と比べ、ケーススタディ、勉強会開催のノウハウなど、指導者として知っておくべき知識をより実践に近い形で学ぶ内容となりました。また、彼らにとって初めての国際学会



高松市民病院で症例を見ながらの
ケーススタディ

に参加することができ、日本を含むアジアの他の国での医療従事者の発表を聞き、交流することで、患者を診るだけでなく、症例の共有、研究していくことの大切さも学べました。

最終日の研修報告会では、研修で得た知識を今後のスヴァイリエン州の救急医療の発展に活かすため、具体的にどのようなことをしていくか、また現時点での課題についても発表しました。ソティア氏は「2回目だけ新しく学びがたくさんあった。人材不足、資機材不足、まだまだ抱える課題は多いけれど、不足している中でもできる『工夫』はたくさんある。まずは救急車との連携、チームワークを改善することで不足を補つてきたい。」と語っていました。

この研修を活かすためのアクションプラン（活動計画）は、ソティア氏が中心となって作成します。



つるぎ町立半田病院で、
BLS*の講習会に参加しました

*BLS：一次救命処置
(Basic Life Support)

研修にご協力いただいた機関

医療法人さくら診療所、医療法人芳越会ホウエツ病院、香川県立中央病院、高松市民病院、高松市消防局、
つるぎ町立半田病院、独立行政法人四国こどもとおとなの医療センター、よしのがわ往診診療所
お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

奨学金支援

スカラーペアレント 支援額改定のお知らせ

セカンドハンドのスカラーペアレント制度ではこれまで月額5,000円（年間60,000円）で一人の生徒を高校卒業まで支援していました。カンボジアの情勢の変更に伴い、支援額を月額3,000円（年間36,000円）に改定します。ご負担が軽くなることから、多くの方のご支援をお待ちしております。なお、ご不明点、ご質問はセカンドハンド本部事務局までお問い合わせください。今後とも皆様からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

前号でご紹介した奨学金支援を希望する4名の内、2名（キム・スライホーイッチさん、クン・サコルくん）の支援者（スカラーペアレント）が決定！まだまだ支援者募集中です！



ザンビア 校舎修繕プロジェクト カムロブエ・コミュニティスクール



プロジェクトを実施しているNPO法人TICO様よりご報告いただきました。



建設中のカムロブエ・コミュニティスクール

カムロブエ・コミュニティスクールでは、昨年7月から校舎の修繕工事が進められてきました。工事のスピードが遅いようにも感じますが、それに

は「理由」があります。

修繕工事には村の大工さんを雇っているのですが、その賃金、なんとPTAを中心とした村の人々がまかなっています！効率性を考えると、一括して賃金を含め支援をしてしまう方が早いのですが、村の人々に協力を得ることで、「自分達で修繕した学校」という意識を持ってもらい、教室や机などの備品をより大

切に管理してもらうことを目的としています。

また、村の大工さんたちは皆、何らかの農作業を行っています。12月から4月頃まで雨期のザンビア。この間、農民は一年で最も忙しい時期に入り、大工さん達も雨の中では工事が進められず、農作業を優先せざるを得ない状況になります。雨期に差し掛かったことも、工事のスピードを遅らせている要因です。また現在同時進行で、教員住宅も建設しています。教員住宅がないと政府から教員が派遣されません。校舎と教員住宅をセットで建設する必要があります。

時間がかかりながらも、現在は何とか校舎の屋根工事の仕上げ作業に入っています。それが終わったら、壁をセメントで塗り、その後ペンキ塗りと、もう少し時間がかかる見込みですが、今年の秋には完成予定です。

カンボジア トバエンプナウ小学校・幼稚部 建設

前号で協力をお願いしたカンボジアのトバエンプナウ小学校・幼稚部建設。村人達がお寺を中心に自分達でお金をを集め、付け合いで建設を始めていたこともあり、あっという間に完成したとの連絡が入り、別の事業で渡航していた創設者の新田が取り急ぎ校舎を訪問してきました！

完成した校舎の壁には寄付をした人の名前がずらり。わずかな金額でも名前を書いています。幼稚部は午前中のみということで、残念ながら幼稚部の様子は撮影できませんでした。校舎建設の責任者のお寺の住職からは、「皆さんのがなければ、この学校はずっと建設途中のままになっていたと思います。地域の皆さん

金を集めましたが、ふたつの村で数十万円集めるのが精一杯でした。このご恩は一生忘れません。地域の皆さん、セカンドハンドの皆さんに感謝しています」と支援者の皆様への感謝の言葉を頂きました。



新校舎で学ぶ子ども達



セカンドハンドのプレートは
石でできた立派なものでした

セカンドハンドくんが
行く!

「体験学習の受け入れ」を探れ!の巻



セカンドハンドでは毎年、香川県内の約10校の中学校・高校から約160名の生徒の体験学習の受け入れを行っています。内容は、職場体験、ボランティア体験など様々です。実際どんなことをしているのかなあ?早速見てみよう!

●とある日の体験学習スケジュール (中学校2年生:20名)

※セカンドハンドの活動について学校で事前学習を実施済みの場合



募金をもらえると、自分の中に心から「ありがとうございます」の気持ちが溢れてくるのが分かりました。人のためにボランティアをするということは、相手の人や周囲の人の気持ちを温かくし、自分も温かい気持ちになるんだと思いました。
(中学1年生)



この値付けをした衣類がお金へ変わり、そしてカンボジアに届くと思うととても嬉しく感じることができました。
(中学1年生)

単純作業だけど、書簡を受け取る人、値札を見る人や使う人のことを考えながら丁寧に作るのがポイントなんだね。
(中学3年生)

今日の作業一つが国際協力に繋がっていることを最後に改めて教えてもらうよ。
みんな、お疲れ様!!



9:30

11:00

12:00

13:00
※午後の作業はグループに分かれて行い、時間制で交代

15:00

15:15

本部に集合!

セカンドハンド・ユース代表からユースの活動やカンボジアで出会った奨学生の話を聞く。

最初にこれから行うボランティア活動がどんな支援に繋がるのかを教えてもらおうんだね。実際にカンボジアに行ったことのある人の話を聞いたり、現地の動画や写真を見たりすることで、支援先の人々の状況を詳しく知ることができてよし実感が湧くんだね。

カンボジアに行った時のこと話をしてくださいっている時は自分も一緒にやっている気分になり、「当たり前になっていた幸せ」に気づきました。
(中学3年生)

募金活動

セカンドハンド・ユースと一緒に街頭募金活動を行う。



募金活動は、体験学習の中でも一番生徒の心に残る活動なんだって。最初は恥ずかしいと思っていた子も最後には大きな声で募金の呼びかけができるようになるよ。
(中学1年生)

昼食

A お店番

お店番ボランティアの方と一緒に、お店の掃除、商品整理・補充、レジ補佐、POP作成、等を行う。

お店での作業は接客だけじゃないんだね。市民の皆さんから提供いただいた品物をできる限り多くのお金に換えるために、お店を掃除したりディスプレイを工夫したり…色々あるんだな。

店内の掃除をした時は、床の上のものをかきしてホウキで掃いたり、棚の上や商品の汚れているところを拭いたり、服をたたんだりと大変だったけど、少し店内がきれいになったのを見て嬉しくなりました。一生懸命掃除をすることで売り上げに繋がったり、私達にできることは小さな事だけど、それを一生懸命することが大切なんだと思いました。
(中学1年生)

B 倉庫作業

倉庫作業ボランティアの方と一緒に、提供された品物の仕分け作業、値札付け作業、等を行う。

作業の中には商品の整理や値札付けなど普段やりなれない事もあったりするけど、優しいボランティアスタッフの皆さんに一つ一つ丁寧に教えてもらえるから大丈夫!



C 事務作業

事務作業ボランティアの方と一緒に書簡作り、値札作り、値段調べ作業、等を行う。



セカンドハンドに行って驚いたことはどんなに小さなものでも大切に使うということです。セカンドハンドにあるものは殆どが市民から寄付されたものでその一つ一つを大切に扱っていきたいと思いました。
(中学1年生)

D イベント準備

イベント向け商品準備、広報物作成、等を行う。



まとめ

解散

私たちにも世界のためにできることはたくさんある」ということに気づきました。まずは困っている人々の現状を知ること、そして小さくても何かやってみる、いうことがとても大事だと思いました。
(中学3年生)



実際に先生に話を聞いてみたよ!

「福祉・ボランティア活動体験学習」中学3年生35名



元玉藻中学校教員
(現鶴尾中学校教員)
菊池先生

昨年度玉藻中学校の3年国で「共生」を統一テーマに1年を通して学び、各クラスで「高齢者・環境・国際理解・ハンセン病」などを取り上げ、講義、体験の時間を設けました。菊池先生のクラスは国際理解「私達は世界を変えることができる?」をテーマとし、その中の一つとしてセカンドハンドでの体験学習を行いました。

Q なぜセカンドハンドで体験?

教員って、意外と学校外に何かをお願いする時ドキドキしているんです。だから、学校に配布してくれるセカンドハンド通信やHPの情報などを見て、こっそり団体のことを知れるのが良かったですし、以前にも体験をお願いしたことがあったので、頼みやすかつたというのが一つあります。

Q 印象的な活動はありましたか?

募金活動が楽しかったという生徒がたくさんいましたし、私もすごく楽しかったんです。あんなに大きな声を出して知らない人に呼びかけたのはみんな初めてだったんじゃないかな。

Q 特に印象に残った生徒の反応は?

実は急変する子ってなかなかいないんですが、「自分のできる範囲でできることから始めるので良い」というのを言ってもらえたのを受けて「学校では普通にしている『掃除をする』とか『草抜きをする』とかそういう行為を場所を変えてすることでボランティアになって喜んでくれる人が増えることに気づいた」と書いてくれている子がいました。

また、セカンドハンドでの体験学習をするまでは「自分には何も良いところがない」と言っていた子が多くたけれど、その後行った進路指導では具体的にこれというはないけれど、「人の役に立つ仕事に就きたい」と書く子が増えましたね。

Q 良かった点は?

スケジュールは学校の都合に合わせていただきましたし、セカンドハンドにとどても必要としている仕事をお手伝いできたのが良かったです。「働いた」って達成感がありました。また、最初に、彼らに年が近い大学生からカンボジアのことを楽しく話してくれたのも具体的で分かりやすかったです。

お金をもらわずに働いているボランティアの人達とのふれあいも新鮮だったと思います。中学生にとって親や先生以外の大人との関わりって少ないんです。外部の方との接触だけでも新鮮だし、「大人って敵じゃ

ない」って思えたんじゃないですかね(笑)「みんな良い人達だったね」とか「ドキドキしてたけど、そんなに怒られんかったわ」とか言いました。コミュニケーションの訓練にもなったと思います。

また、一人ひとりに役割をきちんと与えてくれたので、普段なかなか学校では活躍できない子も、みんなそれに活躍の場がありました。だから、私自身も色々な子に「あの時これがんばったよね!」と言うことができたし、卒業の時にもみんなで振り返ることができるクラスの想い出になりました。

セカンドハンドの体験学習では、ボランティアスタッフの皆さんやセカンドハンド・ユースで活躍する学生達と一緒に活動をすることで、国際協力やボランティアは身近なものと感じてもらうことができるんだね。体験学習先を探している学校や企業の皆さん、ぜひ一度セカンドハンド本部事務局までご相談ください!





各地でひるがる

セカンドハンド関東



JICA地球ひろばでのイベントに
出展しました!

5月28日(土)、新宿区市ヶ谷で開催された「JICA地球ひろば設立10周年記念感謝祭」にセカンドハンドとして出展しました。国際協力・交流活動

を行うNGO、市民団体など70ブースが出展する中、カンボジア商品の販売を行いました。有名人のトークイベントなどもあり、来場者数は多かった一方で、売上は期待したほど伸びませんでしたが、セカンドハンド関東としては久しぶりの活動ができてとても良かったと思っています！ 阿部

セカンドハンド北海道

6月19日、大通公園で行われた「フェアトレーデフェスタ2016」に2年ぶりに出演しました。活動のブランク、雨天続きの天候、そしてカンボジア製品の値上がりと、不安でいっぱいの出展でしたが、当日はますますのお天気。久しぶりのメンバーとの再会を喜び合い、ストールなどを中心に思ったよりも多い売上に安堵しました。これからも道産子ならではのおおらかなペースで活動を続けていきたいと思います。



懐かしいメンバーとの再会！

セカンドハンド片原町店

セカンドハンド片原町店隣のけやき市場にて、ゆかた掘り出し市を行います。ゆかた、着物、ぞうり、帯、などなどあなただけの一着に出会えるチャンス！掘り出し物を見つけて周りに差をつけよう！また、期間中のボランティアも募集しています(^O^)/お店番、商品の売り場への補充や、ポップ書き、ディスプレイなど、みんなで楽しくボランティア活動ができます(^^♪

ゆかた掘り出し市

期間：7月23日(土)～25日(月)

時間：11～16時

場所：けやき市場

(セカンドハンド片原町店隣)

SPECIAL THANKS



4/1～6/30までの3ヶ月間にご寄付などでご協力くださった方々です。その他にも様々な形でご協力くださった皆さまありがとうございました。

【寄付】相原裕美、青野千恵子、安藤二葉、家次加奈、伊賀憲子、岩下順子、上田瞬介、宇検村若者会議やけうちフューチャーズ(重田朱美)、氏家節子、英会話プリンスフォード、大波美栄子、岡田洋子、岡野一郎、岡村久美子、荻浦いく弥、奥谷順子、金子晃代、金平繭、川崎多恵子、川田貴美子、木村明仁子、清國祐二、小池美香、小竹由美子、後藤由美子、後藤京子、後藤キク工、米浪弘子、近藤民好、坂井茂雄、坂井暁子、酒井恵津子、滋賀県立甲良養護学校(田中愛子)、嶋崎種子、清水純子、清水勉、ト田彌由紀、白川ふみ、大光菊江、高瀬稔彦、高田久、高橋純、田中正利、谷武士、玉置麗子、塚田泰代、徳山幸二、友近規、鳥かい歯科医院、中澤力、中村佐由里、中村康人、中村敏子、沼田章、のぞみ総合法律事務所、蓮井孝夫、八田晃伸、林田物流株式会社、東近江キリスト福音教会、福岡奈織、福島康子、淵川敬心、株式会社フランシール、古谷家一同、前田裕司、升崎里美、松原志乃、松山優太、美濃吉広、三原保、三原主幹、宮井康文、宮本純子、宮本明宜、村上和代、山下英城、横山秀敏、吉田修、吉田正強、吉本房子、依田健志、米山太【その他】赤松奈津美、綾野はるな、新井良平、石見和弘、井下那菜、植田千尋、上原由雅、氏家節子、太田かおり、大塚美紀子、大西久美子、大森彩子、岡田洋子、沖村直哉、河西真里・美奈、川西猛興、桐石かなえ、小竹由美子、後藤早苗、小林明子、小山良造、坂井暁子、佐藤香里、塙田竜也、神内昭人、鈴木隆子、瀬尾良二、田辺久美子、田井杏奈、西田カレン、西谷桂子、ぴかでり屋、政本章男、松井勇輝、水田行治、宮治直子、村上しづか、森塚莉紗、山崎美由紀、山下優子、山下理香、八幡典子、横田愛美梨、吉田久美子、若宮広子、和田康子、渡邊むつみ・溝里、渡辺竹代

〈敬称略〉

セカンドハンドの輪



セカンドハンド福岡

これまで、スタッフの知人・友人、福岡店のご近所の方々から提供品をいただき、毎週月曜日のチャリティーショップ運営と恒例となっている草ヶ江幼稚園のバザー出店の活動を行ってまいりました。大変残念はありますが、常連客とスタッフの高齢化、健康上の不安、家族の介護負担のため等でセカンドハンド福岡店を閉店することになりました。20年間ありがとうございました。



セカンドハンド・ユース

4月は熊本とエクアドルで大きな地震が起こったことを受け、高松駅で街頭募金を行い、5月はサンポート高松のさぬきマルシェとコラボ企画の「フェアトレードまつりinかがわ2016」に出演しました。セカンドハンド・ユースの活動に賛同してくれた新入生も加わり、メンバーはなんと23人になりました。今後も、今できる等身大の活動を続けていきたいと思います。



月に1回の街頭募金活動を続けています！



「フェアトレードまつりinかがわ」ではカンボジアコーヒーが大好評でした☆

第16弾!!

「どんな人達がボランティアしているの～？」 ～高松店お店番スタッフ編～

今回は、それぞれが高校生の頃からセカンドハンドに関わりがあったお二人をご紹介♪



後藤 奈穂さん

(インターネットで「高松 ボランティア」で検索し、セカンドハンドがヒット！いつもお店番を楽しんでいらっしゃる姿が印象的です！)

短い時間で気軽にできるボランティアを探していましたところ、セカンドハンドを見つけました。高校生のときによくセカンドハンドで買い物をしていたことを思い出して、ボランティアを始めてみようと思いました。薦めたものをお客さんが買ってくれると嬉しいし、昔から「お店屋さんごっこ」が好きだったので、お店番はすごく楽しいです！ボランティア同士でも交流があるし、やってみてよかったです。

B級感あふれるお店の雰囲気も好きだし、「この人も売ってるんだー！」という宝探し的な感覚も面白いですよ。若い人にももっと来てもらえるようお店になったらいいな、と思います！



大西 優里さん

(現在、保健医療大学1年の大西さん。看護士を目指す彼女は、高2の夏からセカンドハンドでボランティアをしてくれています！)

今から3年前の高校2年生のときに丸亀店でお店番のボランティアを始めました。国際協力に興味があってボランティアを始めましたが、他のお店番はみんな大人だったので、最初はとても緊張しました。受験勉強でお休みしている間に丸亀店が閉店してしまい、お世話になった方に挨拶ができないままなくなってしまったので、とても残念です…

大学生になった今も、高松店やバザーでお店番のボランティアをしています。小物が好きなので、商品を見るのも売るのも楽しいです！経験にもなるし、「自分のできる範囲で国際協力ができるのがすごい！」と思ってボランティアを続けています。今後は、セカンドハンド・ユースの活動にも積極的に参加していきたいです！

Second hand Official Supporter : SOS会員募集

SOS会員はセカンドハンドのファンクラブのようなもの。ファンとして活動を支えてください!お申し込みは同封の払込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としをご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。(セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロードできます)

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
- ◆会費は寄付金控除の対象となります。
- ◆特典: 報告書などの無料送付
カンボジア商品の割引購入
主催コンサート時の優待席確保 ほか

通信発送について お知らせとご協力のお願い

昨年度よりセカンドハンド通信の無料発送を年2回(4月・10月)としております。ただし、年間1,000円以上のご寄付をいただいている方、商品提供者、SOS会員には、引き続き年4回無料でご送付いたします。読みやすく、成果がみえ、学べる通信を目指して制作しております。制作・郵送費カンパとして年間1,000円以上のご寄付で応援してください!

余ってませんか?提供してください!

白コピー用紙・色コピー用紙(どちらもA4サイズ)、螢光灯(メーカーと型番はお問い合わせください)、油性・水性マジック(各色)、水のり・固形のり、ソーラー電卓(表示の見やすいもの)、掃除機、CDプレーヤー

商品提供の受付

夏物衣類:7月下旬まで

秋物衣類:7月中旬から9月下旬まで

※季節を問わない物に関しては常時受付可

【持込先】セカンドハンド高松店

【送り先】これまでセールさんと倉庫での荷物受取りをご協力いたしましたが、ご都合によりご協力いただけなくなったため、当面は下記宛に送付お願い致します。受取場所などが決まれば、お知らせします。

郵便番号	宛 先	宛 名	電 話
〒760-8799	香川県高松市 高松中央郵便局留 高松市觀光通1-1-18	公益社団法人 セカンドハンド	087-861-9928
〒760-0051	香川県高松市田町12-7 ダブルス和田1階 高松田町センター止め		

セカンドハンド イベント&ボランティア情報

月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

日 程	内 容	場 所
7月21日(木)	7月のボランティア体験デー	セカンドハンド本部
7月23日(土)~25日(月)	ゆかた掘り出し市	けやき市場
8月18日(木)	8月のボランティア体験デー	セカンドハンド本部
8月26日(金)~9月6日(火)	カンボジア視察渡航	
9月15日(木)	9月のボランティア体験デー	セカンドハンド本部
10月10日(月)	かがわ国際フェスタ2016	アイパル香川
10月20日(木)	10月のボランティア体験デー	セカンドハンド本部
10月22日(土)~23日(日)	セカンドハンド通信86号発送作業	セカンドハンド本部

本部・高松店

■セカンドハンド本部<3F>

〒760-0055

高松市觀光通1-1-18

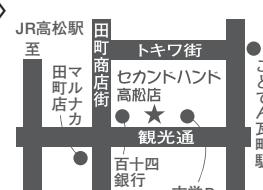
TEL:087-861-9928

営業時間:

月~金 10時~16時

土 11時~15時

日・祝日は定休日



片原町店

〒760-0040

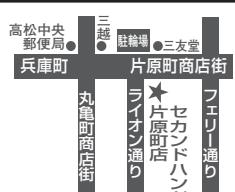
高松市片原町9-1

TEL:087-822-3552

営業時間:

月~金 10時~18時

土・日・祝日 10時~17時



丸亀店

丸亀店は2月末で閉店しました。

高松市郊外・丸亀方面で物品販売可能な空き店舗、空きスペース等探しています!情報をお持ちの方は本部事務局までお知らせください!

セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド大阪

徳

(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

吉田

(Email) 2hand.hokkaido@gmail.com

http://www.facebook.com/secondhandhokkaido

■セカンドハンド関東

阿部

(Email) 2hand.kanntou@gmail.com

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。ボランティア募集!

*このセカンドハンド通信は3ヵ月に一度発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、年4回会員(SOS会員や商品提供者等)に、その内2回を全国の支援者へ無料で発送しています。購読希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。